

施策	43	地域安全の推進	政策	4	暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり			
施策主管課	危機管理・交通安全対策室		課長名	吉村 啓史	内線	2430	政策担当部長名	建設部長 条原 和代
施策関係課名	男女共同参画課・学校教育課・環境課							
重点施策	関連計画							

1 施策の目的	
目的	対象 市民、市内滞在者、財産
	意図 犯罪の被害を軽減する

**2 現状把握**

(1) 対象指標、成果指標の状況

対象指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	見込み 28年度
①	住民人口	人	105,691	105,335	104,728	103,947		102,000
成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標 28年度
※成果指標の設定の考え方は別ワークシートにて整理								
①	犯罪発生件数	件	846	785	825	706		750
②	消費者被害件数	件	30	17	16	27		20

(2) 成果向上に向けての役割分担

主体		役割分担	ムトス指標と把握方法と単位	23年度 実績	24年度	25年度	目標 28年度
行政	市(国・県)	①主体の活動支援 ②防犯施設の整備 ③市民への啓発活動(防犯、消費者被害)	①防犯パトロール等の実施状況(地区からの報告 青パト実施回数)	① 38	40		30
			②啓発活動回数(地区からの報告 実施回数)	② 38	40		30
主体		役割分担	ムトス指標と把握方法と単位	役割発揮の特記事項			
市民等	警察	刑罰等に基づく犯罪捜査および取締の実施	検挙率	・			
	個人	防犯意識の高揚 防犯対策の実施	防犯対策に取り組んでいる市民の割合 (門灯やセンサーライト設置割合など)				
	地域的団体	地域安全活動	①防犯パトロールの実施回数 ②防犯灯の不点灯率 ③啓発活動への参加者数 ④地区での防犯への取り組み件数(安全パトロール、安全安心メール、子供を守る安全の家、マップ作成など)				

**3. 平成24年度の評価結果**

(1) 実施した事務事業の評価(取組みの状況評価)

- 計画どおり取り組めた
- おおむね計画どおり
- あまり取り組めなかった
- 達成できなかった

(2) 施策全体の評価(外部要因も含めた総合的な評価)

- 進んだ
- ある程度進んだ
- あまり進まなかった
- 進まなかった

#### 4 平成24年度の取組概要と評価(成果や課題、その要因)

##### 【施策全体の評価】

・振り込め詐欺(オレオレ詐欺、架空請求詐欺及び融資保証金詐欺)等の犯罪が悪質、巧妙化し被害額が増加する現状にある。また通学時においても、不審者による声かけ事案等が増えてきおり、各地域と連携してパトロールや啓発活動を実施しているが、増加する事案発生の抑制にはつながっていない現状である。地域住民の協力を得る中での「子供見守り運動」の普及を図る必要がある。

##### 【事務事業群テーマ別の評価】

###### <犯罪被害者への支援>

- ・警察署相談員による各機関の窓口における対応についての案内講習を実施。
- ・悪徳商法に関する広報啓発及び発生状況の情報提供を実施。

###### <防犯意識啓発>

- ・市民が多く利用する店舗において、まちづくり委員会防犯担当者と合同で特殊詐欺防止の啓発活動を実施。
- ・高齢者の集まる会合機会において特殊詐欺の啓発広報を実施。
- ・地域安全運動期間を中心としたまちづくり委員会防犯担当者による青パトによる防犯パトロールの実施。

###### <犯罪抑止のための施設整備>

- ・防犯灯のLED化を計画的に実施しており、明るさによる防犯効果及び設備保全対策に加え環境面での成果があった。

#### 5 上記を踏まえて、今後は、どのような対策を実施していきますか

- ・警察と行政が協力し、犯罪を防止し、特殊詐欺は被害に遭う前に相談体制を確立し、だまされたふり作戦の協力等で検挙へ結びつける。
- ・講習の機会あるごとに、防犯対策の講話を入れ、啓発活動の強化を図る。